

かしばのお財布

令和7年度 予算と主な事業

◆ 問合せ先 市役所財政課 ☎ 44-13337

令和7年度当初予算が決まりました。

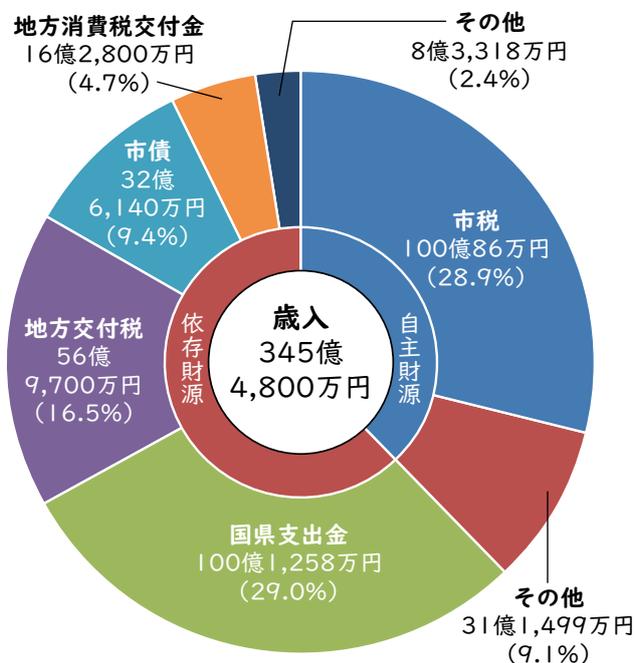
一般会計の予算規模は、345億4,800万円、前年度と比べると、34億1,800万円(11.0%)の増加となりました。

特別会計の予算総額は145億2,160万円、前年度と比べると、3億9,400万円(2.8%)の増加、また、公営企業会計の予算総額は31億2,999万8千円で、水道事業会計が奈良県広域水道企業団に事業統合されたため、前年度と比べると、26億1,421万円(45.5%)の減少となりました。本号では、本年度の予算の用途などについてお知らせします。

4,800万円

1,800万円増

〈歳入〉



自主財源の市税については、前年度と比較して6億1,700万円(6.6%)増加の100億86万円と見込んでいます。また、市民税で5億5,300万円(11.1%)、固定資産税で4,700万円(1.2%)の増加、軽自動車税で1,700万円(8.3%)の増加を見込んでいます。

依存財源の国県支出金については、前年度と比較して13億6,418万円(15.8%)の増加となっています。これは、扶助費の増加に伴う負担金や義務教育学校の長寿命化に伴う学校施設環境改善交付金などの増加によるものです。

令和7年度当初予算の総額 521億9,959万8千円

一般会計	345億4,800万円 (11.0%増)
特別会計	145億2,160万円 (2.8%増)
公営企業会計	31億2,999万8千円 (45.5%減)

用語解説

一般会計
福祉や教育、道路整備など、市の基本的な仕事を行う会計

特別会計
国民健康保険や介護保険など使道が決まっている会計

公営企業会計

地方公共団体が企業として経営する事業の会計。本市では下水道事業会計

【歳入編】市に入るお金

自主財源

市が自主的に収入する財源

市税

市民税、固定資産税など皆さまに納めていただく税金

依存財源

国や県の基準に基づいて交付される財源

国県支出金

特定の事業のために国や県から交付されるお金

地方交付税

地方公共団体が等しく行政サービスを提供することができるよう、一定の基準により国から交付されるお金

市債

公共事業などの財源として、国や銀行などから借りるお金

地方消費税交付金

地方消費税の一部が、人口などにより按分されて県から交付されるお金